

2018年4月2日

2018年度 新入社員への社長メッセージについて

本日4月2日(月)、赤坂インターシティコンファレンスにて330名(伊藤ハムグループ 218名、米久グループ 112名)の新入社員を迎え入社式を行いました。

当社代表取締役社長 宮下 功より新入社員に対するメッセージと、伊藤ハム株式会社 代表取締役社長 柴山 育朗、米久株式会社 代表取締役社長 堀内 朗久より激励の言葉がありましたので、要約を下記の通りご報告いたします。

記

<宮下社長 メッセージ>

はじめに

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

皆さんが伊藤ハム米久ホールディングスグループの一員となられたこと、グループを代表してお祝いすると同時に、数多くある会社の中から、わが社グループを選んでいただいたことを大変うれしく思います。

変化に適切に対応する

いま世の中は、日々大きく変化しています。政治面においては、自国第一主義やポピュリズムが台頭しており、宗教面での対立もより先鋭化しています。経済においても、数年前のシェール革命やハイブリッドカーから電気自動車への流れなど、凄まじい勢いで構造変化が起きています。さらには、人工知能の発達により、そう遠くない将来に我々の生活スタイルが劇的に変わる予感すらします。我々が属する食品産業は、他の産業と比べると、変化の度合いは小さいかもしれませんが、女性の社会進出や少人数世帯の増加による調理の簡便化や少容量商品の増加、健康志向の高まりや販売チャネルの多様化など、わが社グループの販売動向は、ここ数年の間でも大きく変化しています。我々を取り巻く環境は、今この瞬間も変化しており、こうした変化に適切に対応し、いち早く手を打てたものが、より大きな成功を得ることができます。

皆さんも、仕事を教わり、先輩を真似ることから取り組みつつも、「変化に適切に対応する」精神を忘れずに、意欲的に改善・改革にチャレンジする人材になることを期待します。

コンプライアンスを順守する

二宮尊徳の言葉で、「道徳なき経済は犯罪、経済なき道徳は寝言」という言葉があります。コンプライアンスは全てに優先することを肝に銘じてください。コンプライアンスや経営理念にのっとらない仕事は、絶対にしてはいけません。コンプライアンスを順守した上で、競争力のある仕事を行うことを心掛けてください。「コンプライアンスを守ってはい利益が出ない」というような言い訳をする人は、現代のビジネス界において、企業人として失格です。「コンプライアンスを守った上で利益を出す」ことが当たり前であり、高い次元で両立できる会社が世間から「いい会社」と言われる条件です。

仲間を大切にする

3点目は、「仲間を大切にする」ということです。

それぞれの職場に配属されると、先輩社員や上司と出会います。また、他の部署と力を合わせて仕事することも数多くあります。そうした職場の仲間を大切にしてください。自分ひとりの力では解決できない事も、周りの人と一緒に知恵を出し合い協力することで解決できるのが仕事の楽しさです。そして、職場の仲間同様に、同期入社の人を大切にしてください。同期の仲間は、将来、皆さんが仕事で困ったときに、立場や役職が違っていても、皆さんのために親身に相談に乗り、助けてくれる心強い存在です。

<柴山社長 激励の言葉>

皆さん、入社おめでとうございます。新入社員の方で不安ではない人、これからの業務で失敗しない人はいないと思います。皆さん個人の問題ではなく会社の問題として、不安を抱え込まない、失敗が出ないような職場環境を目指し、皆で取り組んでいきますので、お一人で自分を追い込んでしまわないようにしてください。皆さん、上司や先輩に対し遠慮なく頼ってきてください。

<堀内社長 激励の言葉>

皆さん、入社おめでとうございます。ホールディングスグループ全ての従業員が皆さんを歓迎しています。二つ、お伝えしたいのが「初心忘るべからず」「絶対に遠慮をしない」ということです。会社に良いと思うことは必ず言ってきてください。親身に受け取りますので、是非ともさまざまなことを遠慮せずにぶつけてきてください。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先	伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 総務部広報室 高武、眞島 TEL : 03-5723-6889 FAX : 03-5723-2112
------------------	---